

2011 年度報告書（研究員）

氏 名	福田 順
職 位	短時間研究員
<p>研究概要</p> <p>本年度は日本企業の株主構成と雇用調整速度について分析を行い、さらに 1960 年代以降の日本とアメリカの雇用調整速度の比較も行った。これらの研究は今年 4 月に京都大学学術出版会から出版される単著『コーポレート・ガバナンスの進化と日本経済』に収録されることになっている。この他、男性正規労働者の労働時間と労働時間規制の関係についても分析を行った。これは過去に議論となった「日本版ホワイトカラー・エグゼンプション」と共通している課題であり、労働時間規制に関する先行研究や議論を整理した上で分析を行っている。この研究は昨年 9 月に開催された ISA RC06-CFR Kyoto Seminar 2011 on Reconstruction of Intimate and Public Spheres in a Global Perspective のポスターセッションで報告した。この研究は現在、査読付き英文雑誌の審査中である。また、雇用調整速度についてもさらに分析を進めている。具体的には、1990 年以降の雇用調整速度の日米比較をより詳細に行いつつ、さらに日本については雇用調整速度を雇用形態別に計測するものである。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文</p> <p>①"Shareholder Structure and Dividend Rate in Japanese Firms: Analysis Using Panel Data" 京都大学大学院経済学研究科プロジェクトセンター ディスカッションペーパーシリーズ E-11-003, 2011 年 6 月</p> <p>報告</p> <p>①「日本企業の株主構成と雇用調整」『社会政策学会第 122 回大会』明治学院大学, 2011 年 5 月 22 日。</p> <p>②“Working hours and discretionary work in Japan,” ISA RC06-CFR Kyoto Seminar 2011 on Reconstruction of Intimate and Public Spheres in a Global Perspective, 京都大学, 2011 年 9 月 12 日(ポスター報告)</p> <p>③「雇用調整速度の日米比較分析」『社会政策学会第 123 回大会』京都大学, 2011 年 10 月 8 日。</p> <p>「雇用調整速度の国際比較」『第 16 回進化経済学会大阪大会』摂南大学, 2012 年 3 月 17 日。</p>	

